



2018年3月期 第2四半期
連結決算概要

2017年11月9日

日本リーテック株式会社
(証券コード：1938)

連結業績サマリー



■ 業績要旨

- ・ 前期比、減収減益決算となった。

■ 主な要因（対前期比）

- ・ 受注高は、194億円と前期比28億円の減少となった。主に屋内外電気設備部門及び送電線部門において前期に大型工事を受注した反動減である。
- ・ 売上高は、199億円と前期比9億円弱の減少となった。主に鉄道電気設備部門及び屋内外電気設備部門において前期比減少となっている。
- ・ 営業利益は、工事原価低減による採算性向上等、収益向上に努めたものの、売上高の減少等が影響し、7億円と前期比2億円弱の減少となった。
- ・ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、7億円と前期比1億円の減少となった。

連結損益計算書



(単位：億円)

	16/09 2Q実績	17/09 2Q実績	前期比	2018年3月期 予想	
受注高	223	194	▲28	—	—
売上高	208	199	▲8	552	
営業利益	9 4.3%	7 3.7%	▲1	46	8.3%
経常利益	12 5.8%	10 5.2%	▲1	51	9.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	8 4.1%	7 3.8%	▲1	35	6.5%

※ 公表値は、決算短信で公表している通期の予想値となります。

※ 記載されている割合は、利益率を表しております。

※ 前期比含め各数値は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率は単位未満を四捨五入しております。(以降同様)

【参考】中期経営計画 “Next Stage 2018” 目標値について

	2016年3月期 実績	2019年3月期 目標値	対比
売上高	526	580	+54
営業利益	41 7.8%	45 7.8%	+4

連結貸借対照表



- ・総資産は、設備投資の増加等を主因として、前期比増加している。
- ・自己資本比率は67.3%と前期比同水準となった。

(単位：億円)

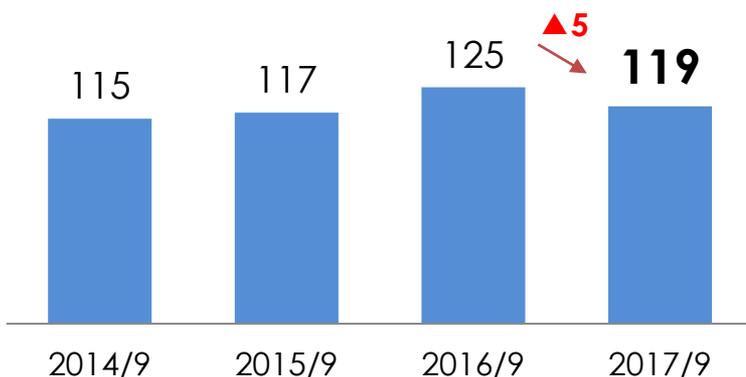
	16/09 2Q実績	17/09 2Q実績	増減
流動資産	315	342	+27
固定資産	267	302	+35
資産合計	583	645	+62
流動負債	118	140	+21
固定負債	69	70	+0
負債合計	187	210	+23
純資産合計	395	434	+39
負債純資産合計	583	645	+62
自己資本比率	67.8%	67.3%	▲0.5P

※自己資本比率 = (純資産-非支配株主持分) / 総資産

■ 受注高 (第2四半期累計) (単位: 億円)



■ 売上高 (第2四半期累計) (単位: 億円)



主なポイント

- 受注高については、118億円と前期比5億円の増加となった。東日本旅客鉄道(株)を中心に大型信号設備改良工事の受注等、堅調に推移している。
- 売上高については、119億円と前期比5億円の減少となったが、概ね順調に推移している。

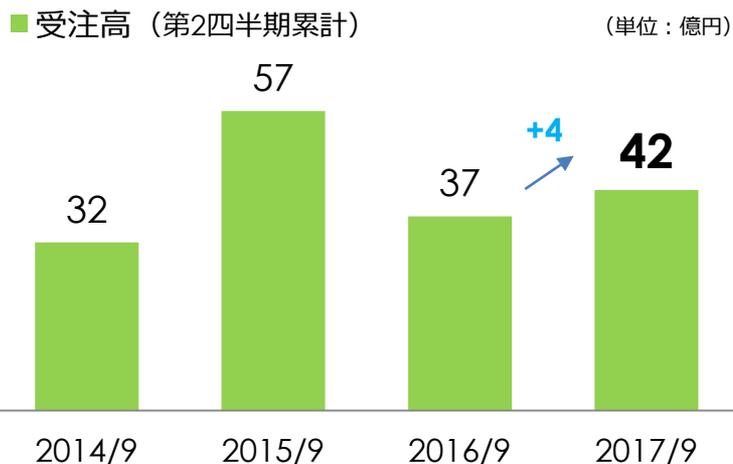
主な施工実績



板橋駅電留線電車線路新設 (東京都)



関内駅北口新駅舎通信設備 (神奈川県)



主なポイント

- 受注高については、前期比4億円増加の42億円となった。主に首都高速道路(株)を中心に安定した受注を確保した。
- 売上高については、各高速道路の標識工事等の進捗により、23億円と前期と同水準となった。

主な施工実績

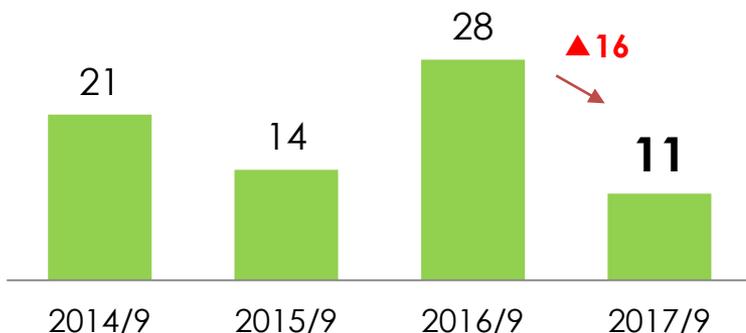


首都高速中央環状線標識補修 (東京都)

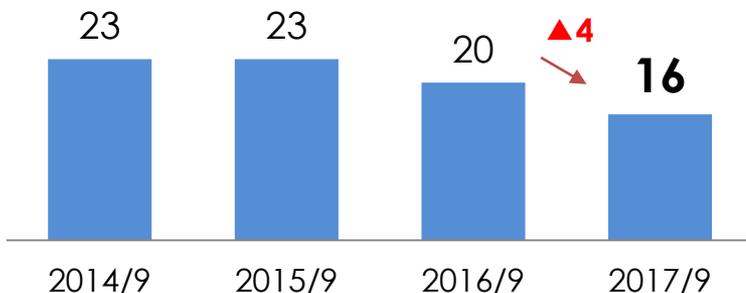


本州四国連絡高速標識更新 (徳島県)

■ 受注高 (第2四半期累計) (単位: 億円)



■ 売上高 (第2四半期累計) (単位: 億円)



主なポイント

- 受注高については、11億円と前期比16億円の減少となった。前期に駅ビルや銀行等の改修工事を複数受注しており、その反動減である。
- 売上高については、前期に官公庁関連工事の竣工が複数あったこともあり、今期は16億円と前期比4億円減少している。今後前期に受注した大型工事が売上に寄与してくる予定である。

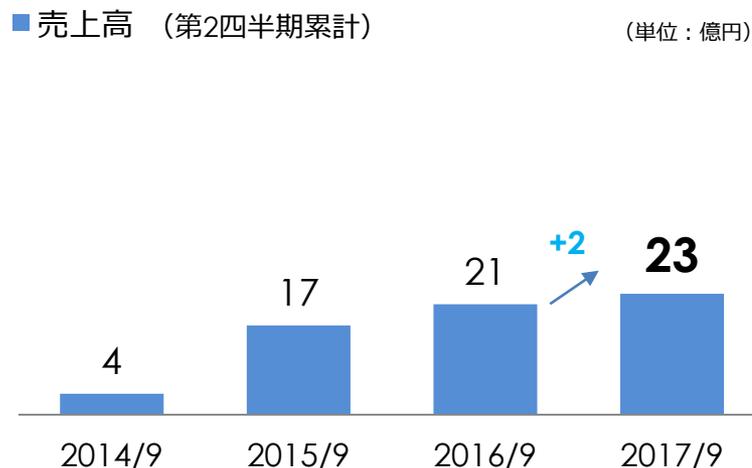
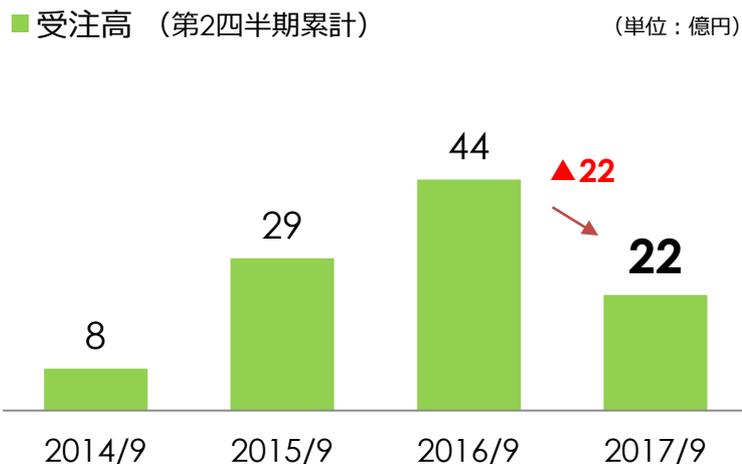
主な施工実績



秋田駅西口立体駐車場新設
(秋田県)



御田神辺池ソーラー発電所建設
(香川県)



主なポイント

- 受注高については、前期比22億円減少の22億円となった。前期に東京電力パワーグリッド(株)からの大型プロジェクト工事を複数受注したことによる反動減である。
- 売上高については、前期に受注した大型幹線工事の進捗により、前期比2億円増加の23億円となった。

主な施工実績



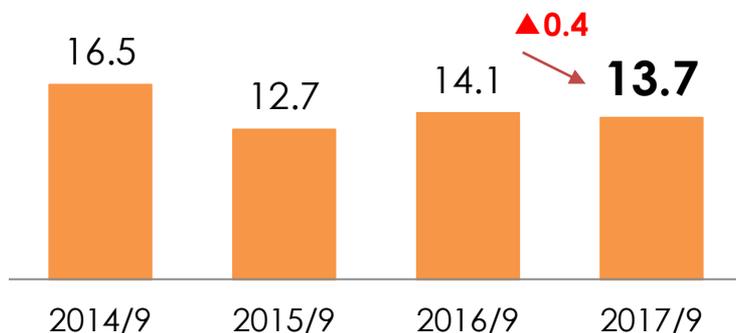
香取線鉄塔建替
(茨城県)



南京都新八幡線改良工事
(滋賀県)

兼業事業

■売上高（第2四半期累計） (単位：億円)



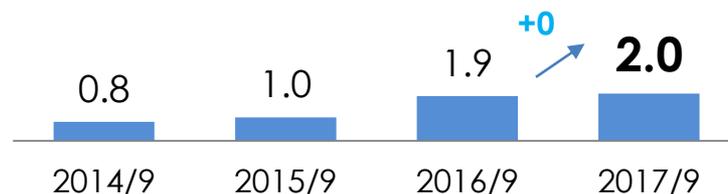
■売上高は13.7億円と前期比0.4億円の減少となった。

<兼業事業の内容>

- ・交通施設に関する標識及び交通安全用品の製造・販売業務
- ・建物・関連設備の保守管理業務、機械装置・仮設材関係の保守管理業務

不動産賃貸事業

■売上高（第2四半期累計） (単位：億円)



大崎ブライトタワー
(区分所有)



NRグランディール万代
(個人向け賃貸物件)



2018年3月期 連結業績予想

連結業績予想サマリー



■業績予想 要旨

- 2018年3月期の業績予想については、前期比“増収、微増益”を予想。
- 売上高については、引き続き各分野で堅調な受注を確保していくとともに前期末繰越工事に含まれる各本部の大型プロジェクト工事の進捗が見込まれることから前期比5億円の増加を予定。
- また、継続的な採算性の向上を図り、前期同水準の営業利益、経常利益の確保を目指す。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比同水準を見込む。

◆今期の主なトピックス

- 東北エリア、関西エリアの組織改正（2017.7実施）
- 設備投資-新研修施設（2018.3竣工・運用開始予定）
- 設備投資-独身寮整備（2018.2リニューアル完了、南越谷）
- 設備投資-大宮支社新設（2018.3着工、2018.11竣工予定）



新研修施設航空写真10月末現在

連結業績予想数値



(億円)

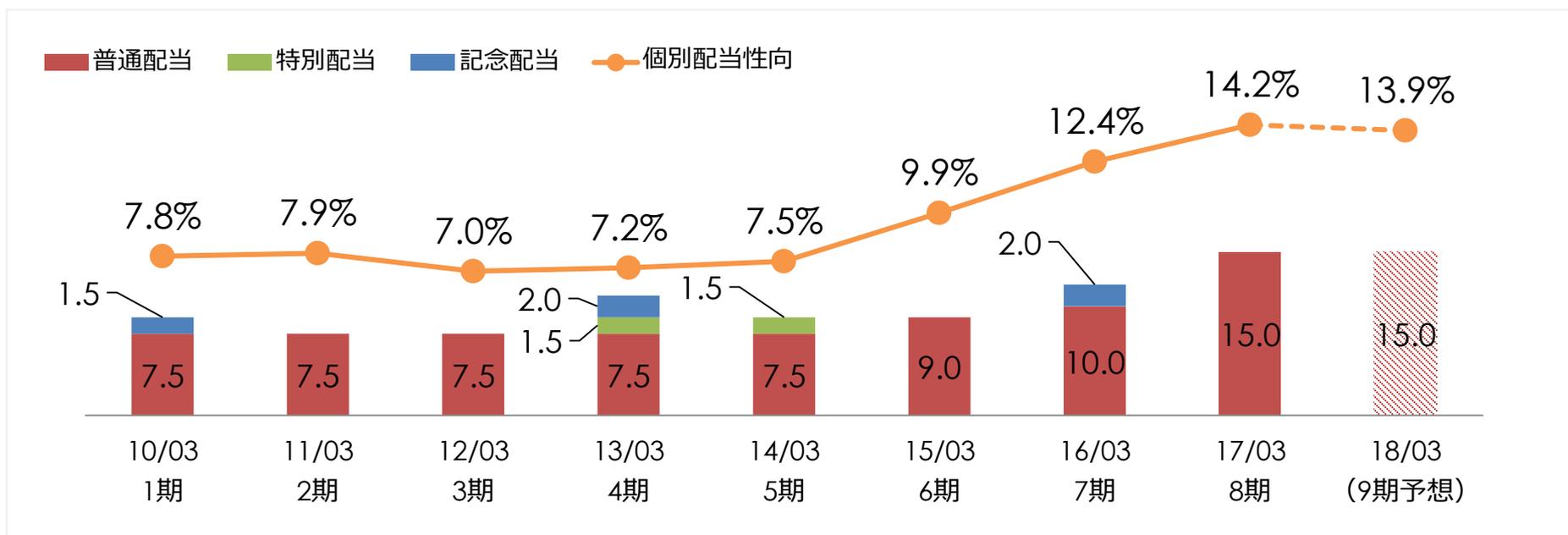
	2017年3月期 実績		2018年3月期 予想		前期比
売上高	546		552		+5
営業利益	45	8.3%	46	8.3%	+0
経常利益	51	9.4%	51	9.3%	+0
親会社株主に帰属 する当期純利益	35	6.6%	35	6.5%	+0

配当方針及び配当状況



当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置付けており、経営体質の強化ならびに将来の事業展開に備えるための内部留保を確保しつつ、配当性向にも配慮しながら安定的な配当を継続していくことを基本方針としてまいります。

・ 2018年3月期の配当（予想）は、一株当たり15.0円。（普通配当@15.0円）



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、日本リーテックグループが現時点で入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
なお、異なる結果となった場合でも当社は本資料を改定する義務を負いかねますので、ご了承ください。

(お問い合わせ先)

日本リーテック株式会社
総務部 広報・IR課

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-6
T E L : 03-6880-2710
F A X : 03-6880-2750
H P : <http://www.j-rietec.co.jp/>